

市議会だより なめりかわ

No.207

令和4年8月1日発行
滑川市議会
☎(076) 475-2111
E-mail:gikai@city.namerikawa.lg.jp

(タイトル：滑川高校卒業生 森岡美久さんの作品)



姉妹都市議会交流として、6年ぶりに豊頃町議会が来滑されました。

令和4年6月定例会一覧

開会 6月6日
閉会 6月20日 } 会期15日間

○本会議(主な内容)

6日 会期の決定
提案理由説明
補足説明
13日 代表質問・一般質問
14日 一般質問

議案の委員会付託・請願の委員会付託
20日 委員長報告・質疑・討論 採決
追加提案
提案理由説明・補足説明

議案の委員会付託・委員長報告・質疑・討論・採決
議員派遣
閉会中の継続審査

○委員会

6・14・20日 議会運営委員会
14・15・20日 総務文教消防委員会
16日 産業厚生建設委員会

○議案の審議結果

予算(原案可決)	1件
条例(原案可決)	3件
その他(原案可決)	1件
その他(原案承認)	1件
請願(不採択)	1件
合計	7件

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は9月です。



なめりかわ 市議会だより

◆令和4年6月定例会

令和4年度一般会計補正予算(第1号)

(4億3,423万5千円)

など、市長提出議案6議案を可決・承認

6月定例会

本会議

◇6月6日に本会議を開き、まず会期を20日までの15日間と決めた後に、令和4年度一般会計補正予算及び条例等の市長提出議案5件及び報告4件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部長から議案の補足説明がありました。

◇13日、14日は代表質問及び一般質問が行われ、14名の議員が市政一般に対する質問及び提出諸案件に対する質問を行った後、市長提出議案及び請願1件を所管の各常任委員会へ付託しました。

◇最終日の20日には本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

次に、議案第25号の委員会修正案に対する反対討論が岩城議員から、賛成討論が竹原議員及び古沢議員からありました。また、請願第1号に対する賛成討論が古沢議員からありました。

分離採決の結果、議案第25号の修正案については、賛成少数で否決となり、原案が賛成多数で可決されました。その他の4議案は一括して採決され、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で可決または承認されました。

次に、請願1件の採決を行い、賛成少数で不採択となりました。

その後、市長より追加提案された議案第30号について、提案理由の説明があり、全体委員会での補足説明質疑の後に所管の総務文教消防委員会に付託を行いました。総務文教消防委員長から審査結果の報告の後採決され、賛成全員で可決されました。

最後に議員派遣及び閉会中の継続審査を議決して、6月定例会を閉会としました。

常任委員会での 審査 (主な質疑等)

各常任委員会への
付託案件はP13をご覧ください。

総務文教消防委員会

当初付託された2議案については、賛成全員で原案のとおり可決または承認すべきものと決定しました。

また、請願1件につきましては、反対全員で不採択とすべきものと決定しました。

追加提案された議案第30号については、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

委員会での主な質疑

☆令和4年度滑川市一般会計補正予算(第1号)について

問 DX推進事業費のマイナポイント設定支援員の配置について

答 マイナポイントを付与する事業の第2弾、健康保険証としての利用申込み及び公金受取口座の利用登録事務等のため、設定支援員1人を9カ月間雇用することとしている。

問 出勤管理システムの導入について

答 出退勤等のシステムを選考するにあたって、様々な手法を検討した。現在職員が利用しているパソコンに

機能を追加することで、今まで紙媒体で管理していたものがデジタル管理できるものと考えている。

問 地域連携部活動推進事業費について、両中学校に公平に配置してもらいたいが、中身はどのようなものか。また、保護者への説明はしているのか。

答 今後部活動は、令和7年度までに地域移行する方針としており、今回は、国のモデル事業を活用して滑川中学校男女バドミントン部を選定し実施することとした。

この部活動の選定にあたっては、両中学校の部活動の顧問の先生等に制度内容について説明し、両中学校側と協議したうえで選定した。

このモデル事業の結果を踏まえながら、今後、両中学校の部活動、地域移行について検討し、対応していきたいと考えている。

また、学校と保護者や部活動指導者等による検討会を開催したところであり、今後、検討会を重ねることで、様々なご意見をいただくことで、周知等も図れるものと考えている。

産業厚生建設委員会

「議案第25号 令和4年度滑川市

一般会計補正予算(第1号)」につきまして、青山幸生副委員長より修正案が提出されました。修正案は、

歳出 第2款総務費 第3項戸籍住民基本台帳費のうち、1目戸籍住民基本台帳費の住基ネットワークシステム管理費2千208万2千円と、それに対応する歳入2千208万2千円を削減するものです。提案の理由として、「住民票の写し及び印鑑証明書

のコンビニ交付サービスについては、県内の他市町村がすでに行っており、今年度中に運用を開始できれば導入費の半分が交付税措置されるという一方、交付に多額の手数料が発生することや、今後、年間維持管理費が固定費として発生すること等から、

現段階では導入すべきではない。まずはマイナンバーカードの取得率を高めることが先決で、今後、市民の意見を傾聴し、市のDX推進計画策定後、必要であれば再度予算を計上すべきである。」とのことでありました。

その後、委員間協議のなかで、「市内のコンビニの数も少なく、

費用対効果が見込めないため、今の段階で実施すべきではない。今後、時間をかけて十分に検討する必要がある。」

「マイナンバーカード制度そのものに対する疑問がある。国が国民の不安を払しょくする施策を示していない以上、マイナンバーカードの普及促進について反対である。」

「コンビニ交付については、手数料や一定の固定費はかかるが、市外においても交付が可能になり、住民サービスの点からは実施すべきだと考える。」

議案第25号の修正案につきまして、採決の結果、可否同数となり、委員長裁決により可決すべきものと決定しました。

議案第25号の修正議決した部分を除く部分については、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

また、議案第26号から議案第29号の4議案につきましては、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決または承認すべきものと決定しました。

委員会での主な質疑

☆令和4年度滑川市一般会計補正予算(第1号)について

問 コンビニ交付の実施がマイナンバーカードの普及促進につながるという点だが、それがどのようなメリットになるのか。

答 マイナンバーカードの普及により、今後幅広い行政サービスに利用できるため、今後、住民にとってもメリットがある。

問 コンビニ交付について、ターゲット層はどういった方か。

答 市外に勤務の方等であり、わざわざ休暇を取って市役所に来る必要がなくなる。また、午前6時30分から午後11時までの交付が可能であることなどのメリットがある。

答 行政の役割というのは、住民ニーズに基づく的確な行政サービスの提供である。民間ベースでは採算性を重視するが、採算の合わないものこそ行政が行うべきである。DXを推進する意味でも、最初の取組としてコンビニ交付を行いたい。



議案第25号修正案反対討論要旨

岩城 議員

住基ネットワークシステムを簡単に言えば、コンビニで住民票の写しや印鑑登録証明書が受け取れるシステムであり、これは究極の住民サービスである。

近所の富山に勤めている方から、車の買い替えで印鑑登録証明書が必須となり、職場に遅刻届を出して市役所窓口に取りに行ったという話をお聞きした。

その際、「富山市のように勤め先の近くのコンビニで印鑑登録証明書が受け取れば昼の休み時間に取りにいけるんだけど。」とも話しておられた。また、県内10市町村ですらにサービスが開始されており、さらに2市が準備中。実施予定がないのは滑川市を含め残り3市町だけということに驚き、不思議がっておられた。

本市の市外へ通勤・通学する市民の割合は50%以上である。その方々や県外で勤務している方、大学に進学された方が市民課の窓口へ来なくとも、通勤・通学先の近くのコンビニ

にて住民票の写しや印鑑証明書が受け取ることができ、さらに朝の6時30分から夜の11時まで受け取ることができる。

こんな便利なことはない。マイナンバーカードの取得率を高めるのが優先ということだが、このサービスを実施していないから取得率が県内最下位なのであり、コンビニ交付を実施することで相乗効果が生まれ、取得率もアップするのである。

その他のメリットとして、市民課の窓口の混雑が緩和することにより、待ち時間が短縮され、市民サービスの向上にもつながる。

いずれは導入しなければならぬサービスであり、時代の要求である。

さらに、令和4年度中にサービスを開始すれば、導入にかかるシステム構築費約2千200万円に対し、約半分の1千100万円、また、毎年の経費約300万円についても令和5・6年度は約半分の150万円が国からの交付税措置の対象となる。

準備期間を考えると、この6月定例会での議決を求める当局の事情も考慮すべきである。

これらを活用することが地方自治

体の賢明な生き方ではないか。ランニングコストがかかるというが、住民の皆さんに快適で便利な暮らしをしていただくために、第2子の保育料無料化、のるmy car、市民交流プラザやスポーツ・健康の森公園など、採算が合わなくてもやるべき事業はある。

住民サービスという意味では、このコンビニ交付も全く一緒である。

滑川市は上田前市長のおかげで財政的にも安定しており、市民サービスのために導入すべきだと思っっているのは私だけだろうか。

議会への説明不足というが、委員会で十分丁寧な説明があった。

こういった反対討論をしなくてはならないこと自体が不思議でならない。

このサービスの導入は時代の趨勢であり、滑川市を陸の孤島にしないため、議員の皆様を検討いただきました。

質問において、DXの推進に関連した質問が数多くあった。

6月6日付でようやくDX推進本部が設置され、今後の具体的な取組み問いただすも、市長からは今後検討するとの答弁で、何をしたいのか全く解らなかつた。

デジタル化による行政コストの削減や市民サービスの向上の具体的な取組が見えないまま、ただ他自治体が導入しているから、あるいは今年度だと国の交付税措置があるからだとか言われても、システムの初期導入に2千208万円、次年度以降の年間維持管理費が314万円かかる。

市民の皆様から預かった税金を、確かな取組が想定されていないまま執行することに賛同できない。

マイナンバーカードを持っている方だけコンビニで住民票や印鑑証明書を交付できることが、今取り組まなければならないことなのか疑問である。

マイナンバーカードの普及促進もうまくいっていない中、また、他自治体のこのシステムを導入した事例についての結果の検証もされていない、そして年間維持管理費の314万円の次年度以降の財源の担保すらされ

議案第25号修正案賛成討論要旨

竹原 議員

今定例会本会議の代表質問、一般

ていないのに、ただDXという名前
で推進することが、本市がすぐに取り
組むべき事業ではないと考える。
今からDX推進本部で各種事業の
洗い出しをするといった当局答弁か
らしても、現在スタート地点であり、
十分な議論もせずに先走った事業を
減額修正した議案に、議員各位の賛
同を賜りたくお願い申し上げ、賛成
討論とさせていただきます。

古沢議員

議案第25号に示されたような、マ
イナンバーカード取得促進への不信
不安から修正案に賛成するものであ
る。

政府は本年度末までにマイナンバ
ーカードの取得率100%を目指すとし
ている。

そのために、マイナポイントをは
じめとした特典を用意したり、ある
いは健康保険証など、様々なデータ
と紐づけするとしている。

しかし、マイナンバーカードが政
府の思惑通りに普及しないのは、こ
の制度への国民の根強い不安と不信
がある。

情報漏洩があれば、個人情報丸

裸になってしまう。本当に大丈夫な
のか、個人情報が一元的に掌握され
ることへの不安も根強いものがある。
そもそも、なぜマイナンバーカード
での一元管理を推進しようとするの
かへの様々な不信も指摘されている。
今回の事業は、特別交付税措置も
今年度内での導入、運用開始に限ら
れるなど、政府が今年度内にこだわ
る焦りに似た姿勢が感じられる。

多くの国民の不安と不信に比べよ
うとせず、しやにむにカード普及を
進めようとする政府の姿勢と、これ
に呼応する対応には賛成できず、修
正案への賛成討論とする。

日誌

4年5月

10日 産業厚生建設委員会協議会
定例議員協議会
議会運営委員会協議会

21日 東京滑川会総会・懇親会
(東京都)

24日 総務文教消防委員会協議会
産業厚生建設委員会協議会
富山県日韓友好議員連盟
理事会(富山市)
富山県選出国会議員との
懇談会(東京都)

25日 全国市議会議長会定期総会
(東京都)

30日 議会運営委員会

6月 1日 定例議員協議会
6月 20日 6月定例会
議会報編集委員会

20日

7月 2日 関西滑川会総会・懇親会
(大阪府)

6日 沖田川中流域治水対策
促進期成同盟会総会

8日 議会運営委員会協議会
定例議員協議会
議会報編集委員会
広報広聴委員会
産業厚生建設委員会行政視察
(福井県小浜市・
石川県能登町)

12月 13日 富山高山連絡道路
(国道41号)整備促進期成
同盟会総会(富山市)

13日 富山外郭環状道路整備促進
期成同盟会総会(富山市)

14日 全国市議会議長会
社会文教委員会(東京都)
議会報編集委員会

15日 北朝鮮に拉致された日本人
を早期に救出する富山県地
方議員連盟理事会(富山市)

20日 富山県日台友好議員連盟
理事会・総会(富山市)

25日 情報技術調査特別委員会
行政視察(射水市)

27日 総務文教消防委員会協議会
産業厚生建設委員会協議会
北アルプス横断道路構想
推進会議総会(魚津市)
東部山麓道路建設促進期成
同盟会総会(魚津市)
朝日滑川間国道・バイパス
建設促進期成同盟会総会
(魚津市)

28日 29日 総務文教消防委員会行政視察
(岐阜県岐阜市・中津川市)

一般表質問

6月定例会では14名の議員が質
問を行い、57項目について市当局
の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のと
おりです。

(全ての質問等詳細を記録した会
議録は、9月中旬頃までに、市立
図書館に配付する予定です)のでご
利用ください。また、滑川市ホー
ムページの市政情報には、議会議
録検索システムが搭載されて
おりますので、ご利用ください。
※質問者の最後のQは、掲載外の
質問事項です。

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



1 滑川市の未来のために
2 原油価格、物価高騰に対する支援について
3 観光振興について
4 コミュニティバス事業について

(会派 志真会) 竹原 正 人 議員



Q 副市長としての決意を伺う。

A 柿沢副市長 議員の皆さんをはじめ市民の皆さんと共に、そして市役所の職員の皆さんと共に、市民の皆さんが本当に幸せだと実感いただける滑川市の実現に向けて一生懸命取り組んでいく。

Q 教育長としての決意を伺う。

A 上田教育長 質の高い教育の実践、学びやすい教育環境の充実、文化・スポーツの振興など、それぞれの教育施策を丁寧に推進し、滑川を担う人づくりに努めたい。

Q 原油価格、物価高騰に対する支援について、財源は国の地方創生臨時交付金である。本当に困っている方々に本気で支援するのであれば、国だけの支援では足りない。市単独財源を上乗せし支援する気はないのか。

A 水野市長 現時点では市の財源を上乗せすることは考えていない。

Q 子どもたちへの学校給食の食材に対する支援を考えていないのか。

A 水野市長 今後の支援については、他市町村の動向や情勢を見ながら検討したい。

Q ふるさと龍宮花火大会の協賛について、地元企業、個人からの協

力は得られているのか。

A 黒川産業民生部長 今回の協賛に関しては、市内の事業所を中心に協賛の依頼文を郵送の上、商工会議所職員と観光課職員が各事業所を個別に訪問し協賛をお願いするとともに、市民向けには市広報5月号に協賛募集チラシが折り込まれたところである。今年の協賛金については、従来と同程度の協賛が寄せられており、これまでと同規模にて開催できる見込みである。

Q コミュニティバス事業について、今月から自由乗降の試験運用が1年間実施されるが、利便性の検証などをどのように行っていくのか。

A 黒川産業民生部長 今後、路線ごとの自由乗降利用者の把握やアンケートのほか、地域公共交通計画の策定準備と併せた住民アンケート、またバスドライバーからの聞き取りを行い、試験運用開始以降のコミュニティバスの利用満足度や利用意識の変化、運行への影響、ニーズのある区間等を検証し、試験運用終了後の実施形態の検討資料としていきたい。

代表質問



1 DX推進本部の設置について
2 新型コロナウイルス感染症対策について
3 学校教育について
4 産業・観光について

(会派 会派自民) 中川 勲 議員



Q DX推進本部の設置で具体的にどのような事業をするのか。

A 水野市長 公共施設の利用予約、市役所への各種申請等、行政手続のオンライン化の拡充や、WiFi環境の充実により市民の利便性を向上させる取組や、各種システムの導入により職員の事務効率の改善ができる。また、マイナンバーカードとスマートフォンを活用し、様々な行政手続きが完結できる。

Q 新型コロナウイルス感染症が拡大してから2年以上が経過し、連日感染者が出ているが、今後の感染症対策はどうするのか。

A 黒川産業民生部長 ワクチンの初回接種や追加接種を引き続き行う。また、手洗い、消毒、うがいや換気の徹底、マスクの着用など基本的な感染予防対策について、引き続き、市広報、ホームページ、ケーブルテレビ、市公式フェイスブックなどのSNSで周知する。

Q 土曜授業の廃止で、生徒や保護者、学校、先生の反応は。

A 上田教育長 スポーツ少年団等の大会へ日程調整の心配なく参加できたり、家族と触れ合い、ゆつくり過ごししていると聞いた声が聞

かれる。教職員も家族と過ごし、リフレッシュできていると聞く。

Q 休日における中学校の部活動が2025年度を目標に指導者を地域に移行させるとあるが。

A 上田教育長 文部科学省が休日の部活動の運営主体を地域の外部団体に移行する改革案を示し、スポーツ庁の有識者会議から段階的に地域移行するよう提言があった。教員の働き方改革や生徒にとって望ましい体制づくりを推進する。

Q ガゴメコンブの養殖に深層水が非常に有効であるとのことだが、養殖に取り組んではどうか。

A 黒川産業民生部長 ガゴメコンブの養殖はこれまでにない取組であり、実施主体や養殖池の施設整備、生産体制など、実証実験されている県水産研究所から話を伺いたいと考えている。

Q 北海道知床の観光船の沈没事故を踏まえ、観光船キラリンの運航の安全対策はされたのか。

A 黒川産業民生部長 事故防止に対する意識を高め、万が一浸水事故や衝突事故が発生した場合の乗客の安全確保や損傷位置の確認など初期動作手順や、緊急連絡体制について改めて確認を行った。

一般質問



水橋 真治 議員

- 1 スマートシティによって滑川市民の生活はどのように変わるのか。
- 2 交流・関係人口、移住・定住について
- 3 子育て、教育について



Q スマートシティによって滑川市民の生活はどのように変わるのか。
A 水野市長 新たな仕組みづくり、デジタル技術の活用による、課題解決またはその取組を通して地域の力を維持発展させ、市民が経済的だけでなく、精神面においても豊かな生活を続けることができ、生活の質の向上を実感できると考えている。

Q スマートシティ実現のための具体的な取組はどのように行うのか。
A 小川企画政策課長 DXの推進やまちづくり共創会議での対話、SDGs 未来都市選定に向けた取組などを進め、幅広い方々からアイデアなどをいただくとともに、新しい滑川の創造に向けたビジョンを共有し、地域課題の洗い出しを行っていく。

Q 交流人口、関係人口を増やす具体的な取組はどのように行うのか。
A 小川企画政策課長 魅力ある観光施設、その資源のさらなる活用やPR、地場産業の活性化によるビジネスなどでの交流の増加が考えられる。姉妹都市や東京・関西滑川会など、本市とゆかりのある団体との交流やサテライトオフィ

スの誘致を目的とした都市部との交流、魅力あるふるさと納税返礼品などの充実が考えられる。

Q 移住・定住の促進に向けて、どのような情報発信を強化して、若い世代に本市をアピールするのにか
A 数岸空家等居住対策課長 空き家の利活用事例等を紹介する動画を制作し、都会から地方への移住・定住を考えている多くの方が目にするサイトへの掲載を検討している。また、空き家の利活用は、市内の民間団体と連携し、市の空き家バンクの運営について協議を進め、空き家の所有者と購入希望者のマッチングを一層促進する。

Q デジタル化にあっても、「ふるさと教育」を充実させ滑川を愛する子どもたちを育てるとあるが、どのように充実させていくのか。
A 椎名学務課長 実物を目で見て触れて、感じて、話を聞いて、思いをはせるなどの体験が大切である。ICT機器の活用と実体験を組み合わせ、ふるさとへの理解や愛着を深めるきっかけとなる学習活動を推進していきたい。

スの誘致を目的とした都市部との交流、魅力あるふるさと納税返礼品などの充実が考えられる。

一般質問



尾崎 照雄 議員

- 1 教育DXについて
- 2 教師の働き方改革について
- 3 福祉について



Q 本市の教育DXについての現状認識と今後の抱負について伺う。

A 柿沢副市長 本市では、全小中学校で児童・生徒が家庭にタブレットを持ち帰り、学校の先生方とオンラインでコミュニケーションを取ることや、オンライン授業の実施が可能となっている。インフラ整備、IT技術への知識と理解の必要性、デジタル機器利用に関するルールの整備、教員の意識改革など、学校現場と保護者、行政が連携協力し、さらなる質の高い学びを実現できるように、教育のDXを推進していきたい。

Q 教育委員会の委員には、教育DXについて豊富な知見を持った方を今後選任すべきではないか。
A 水野市長 教育委員会は各分野の見識ある方々を選任しており、重要事項や基本方針を決定する執行機関だと思っている。教育DX、教育の改革を進めていく上でも、そういったことにたけた教育委員というのは今後考えていかなければならないと認識している。

Q 本市の教師用の校務パソコンは、ハイスペックのものが全教員に配備されているのか。
A 水野市長 パソコンの更新に関して、今後、計画的にハイスペックなものに順次取り替えていけるように検討していきたい。

Q 本市の校務のICT化の現状について、どのように認識しているのか。
A 椎名学務課長 指導要録や通信簿の作成、出欠の管理等のため、校務支援システムを導入している。これまで紙媒体を配布していたアプリケーションは、児童・生徒や保護者がタブレットやスマートフォンから回答でき、集計も簡単に行えるツールを活用するなど、ICT化を進めている。

Q 本市のヤングケアラーに対する取組について伺う。
A 牧田子ども課長 市ではこれまでも、地域の民生児童委員等と連携することで早期発見につなげ、福祉、介護、医療、教育等、関係機関と協力して、適切な支援が受けられるよう努めてきた。児童が過度の負担を負うことで本人の健康や学びに支障を来すことのないよう、多機関連携に務め、一人一人が思い描く人生を歩めるよう寄り添う支援を継続していきたい。

一般質問



- 1 農業の振興について
- 2 行田公園について
- 3 教育の振興について

原 明 議員



Q 豊かな農村づくり推進費2千390万円の支援の対象者、支援金の金額の内容は。

A 石井農林課長 昨今のコロナ禍における原油価格や肥料の高騰の影響を受けている市内の水稲作付農家・経営体に対して、燃料費及び肥料代高騰分を助成し、ハウス栽培を行う園芸農家に対して燃料費の高騰分を助成する。助成金額については、水稲作付農家経営体には水稲作付面積10アール当たり1千500円で、ハウス栽培を行う園芸農家へは、燃料の年間使用料を基本に、上昇分の助成を行う。

Q 滑川市のスマート農業の現状は。

A 石井農林課長 スマート農業の推進を図るため、意欲ある農業者や経営体に対し、農薬散布用ドローン、直線キープ機能付き田植機や自動水門、自走式草刈り機等の導入に支援を行っている。農業者が不安なく営農に取り組めるように、労働力不足や重労働の解消を図るため、スマート農業の推進に努めていきたい。

Q 旧児童館跡地内の蒸気機関車と格納庫等の管理、整備を計画し実施すべきと考えるか。

A 荒俣公園緑地課長 SLの小屋や園路、階段等、老朽してきた施設も目立ち始め、大規模な修繕工事が必要な時期と認識している。来園者の方々に安全で安心していただける行田公園となるよう、整備を進めていく。

Q 行田公園の花しょうぶ園の育成と管理についてどのように考えているか。

A 荒俣公園緑地課長 花しょうぶ園は昨年花付きが悪く、多くの方々から落胆の声が聞かれ大変申し訳なく思っている。今年はハナシヨウブで有名な県民公園「頼成の森」に相談し、管理育成方法についてご教示いただき、回復に向けて取り組んでいきたい。

Q 小中学校へのライフスキル教育として、ライオンズクエスト事業の導入をすべきと思うかどうか。

A 椎名学務課長 学校では、我慢はじめ、積極性など、自分自身をコントロールする能力や挨拶、コミュニケーションなど、他の人と関わるライフスキルを育むことは大切なものと考えている。各学校の実績に合わせて児童、生徒を対象とした事業の実施を検討したい。

一般質問



- 1 滑川市のDX化推進について
- 2 キラリンについて

青山 幸生 議員



Q DX推進本部の設置において、CDO補佐官を外部人材とした理由は何か。また委嘱する方の何が一番大切にしているのか。

A 小川企画政策課長 1つ目として、スマートシティの推進に重要であるデータの施策への活用についての専門的な知見をお持ちであること。2つ目として、県のデジタル化推進特命ディレクターを務めており、行政現場におけるデジタル化の課題を幅広く把握していることである。

Q 業務効率化を図るために、具体的にどのようなことから進めるのか。

A 小川企画政策課長 今後ビジネスチャットツール「Logoチャット」を市役所職員の間で試行運用することとしている。利用の効果を課題を整理し、本格的な導入を検討することとしている。効率のな事務処理に努めたい。

Q Logoチャットは年間一人当たり98時間削減できる試算となっている。これは12日分となり250人の職員がいた場合、3千日分の削減になる。削減した後何をしようと考えているか。

A 小川企画政策課長 まずは試行段階と、メールに比べ速やかに相手へ意思を伝えられるということを検証する。時間がもし削減することができれば、具体的にどうしようという計画まではまだ至っていないが、そういうことも考えながら今後計画を進める。

Q よくAIは脳、RPAは実際動かすフィジカル空間である手に例えられる。例えば単純にエクセルからコピーしている業務があった場合、AIおよびRPAに任せるようにしなければならぬ。導入に関して、しっかり精査するのか。

A 小川企画政策課長 他市の状況を踏まえて導入しているものを本市で入れられないか、また技術の進化を鑑み、導入を検討したい。

Q 滑川市イメージアップキャラクターキラリンが少なくなっている。なぜか。

A 小川企画政策課長 コロナ禍の影響により、イベント等での使用が少なくなっている。子どもたちを中心に市民に愛されるキャラクターに成長していることから活用していきたい。

一般質問



1 まちづくりについて
2 環境について

開田 晃 江 議員



Q まちづくり共創会議は15名程度で組織され、市民公募は3名程度、外部アドバイザーも予定とあるが、ほかはどのような人選を予定しているか。

A 柿沢副市長 今回の共創会議では学生も含めた比較的若い世代の市民の方々を中心に考えており、滑川市の将来に向けて、斬新な意見をいただきたいと考えている。

Q 共創会議は8回程度と発表があったが、回数を決めないで、未来へつなげる会議を押し進めてもらいたいと思うか。

A 柿沢副市長 将来ビジョン、政策については、しっかりとしたものを出せるよう、回数だけで打ち切ったことは全く考えていない。

Q (仮称)中滑川複合施設の利活用のためのワーキンググループが設置されたと聞いている。にぎわいをつくるための仕掛けが要ると思うが、グループから出た意見などのように活用するのか。

A 高倉まちづくり課長 イベントを含めにぎわい創出を図るためのアイデアについて提案してもらおうことを目的としており、アイデアに

ついては、施設の運営管理を行う事業者を選定する際の条件等に活用していきたいと考えている。

Q 市民協働のまちづくりのための施策はとも大切だが、バラバラな取組になればもったいない。専門の専属のコーディネートは誰が行うのか。

A 小川企画政策課長 それぞれの会議で得られた成果を副市長が中心となって調整を行うことで、政策に反映していくこととしている。

Q スポーツ・健康の森公園駐車場に車が放置されており、半年以上たっても処理されていない。こういった事例はどの部署が担当するのか。また、行政代執行や危険だから処理するとの最終判断は誰がするのか伺う。

A 野末スポーツ課長 担当課はスポーツ・健康の森公園の所管課であるスポーツ課となる。また、行政代執行については、所有者に対し、内容証明郵便で移動を促す通知を行い、異議申立て期間内に申立てがない場合は処分等の最終判断を市が行うこととなる。

・健康について ・教育について

一般質問



1 滑川蒲鉾跡地について
2 DX化推進について
3 有害鳥獣被害について
4 滑川中央線の街路樹について

安達 真 隆 議員



Q 漁港近くの県水産研究所の協力を得て、富山県内ではまだやっていないウニの畜養をやってみてはどうか。

A 水野市長 ウニの畜養のブランド化ができないか、選択肢の一つとして注目して資料を集めている。磯焼けの対策に、ウニの駆除と駆除したウニを畜養して無駄なく活用できる取組はSDGsの観点から見ても意義がある活動であり、漁業者、農業者、官民一体でブランドディングすることを1つの選択肢として考えていければと思っています。

Q DX化推進について、地区公民館に市役所と連動したパソコンやタブレットを配付してはどうか。

A 丸山生涯学習課長 昨年度、全地区公民館にフリーWiFiを整備した。デジタル端末があれば地区公民館においてインターネットを活用した事業やワークショップの予約などできることから、タブレット端末の配布を検討している。東加積地区公民館及び山加積地区公民館において実証実験を行うことにしている。インターネットを活用した事業が実施できる地区公

民館を増やせるようDX化推進に取り組んでいく。

Q 鳥獣被害防止総合対策交付金について、5月下旬、6月上旬に資材や道具を前もって配布してほしいという要望がある。支払いを前倒しできないか。

A 石井農林課長 鳥獣被害対策の実施については、県からの交付決定後であれば交付金支払い前に着手可能であり、交付決定前でも事前着工届を提出すれば実施することができ。申請から支払いまでの一連の事務について早期に行うことができないか、関係機関と協議したい。

Q 今回の補正予算で、ケヤキの木は何本伐採の対象になるか。

A 荒俣公園緑地課長 今年4月29日に発生した強風により、滑川中央線の街路樹が1本倒伏する事態となった。緊急点検を行ったところ、18本が危険な状態であり、伐採本数は最大限18本と考えている。剪定や間引きについては樹木の生育状況の把握に努め、けやき通りにふさわしい景観となるよう適正に管理していきたい。

一般質問



4 3 2 1

小学校における新幹線遠足について
中学校における部活動について
自然災害対策について
道路修繕について

谷崎潤一 議員



Q 市内小学校1校で学校独自の
新幹線遠足を計画しているが、新
幹線遠足の再開は考えているか。

A 椎名学務課長

北陸新幹線の開
業から年数がたち、児童の各家庭
においても北陸新幹線を利用する
機会が増えてきたことや、新幹線
の利便性についても周知されてき
ている。この事業の当初の事業目
的は達成されたのではないかと考
えていることから、新幹線に乗る
ことを目的としての遠足の再開は
考えていない。

Q 教職員の働き方改革・部活動の
負担軽減を図るため地域連携部活
動推進事業が始まったが、滑川市
での進捗状況・スケジュール・対
応はどうか。

A 野末スポーツ課長

令和5年度
から令和7年度までの3年間をめ
どに、休日の運動部活動から段階
的に地域移行するように提言され
たところである。本市においては、
5月に学校関係者、部活動指導者、
市体育協会などの代表で構成され
る地域部活動あり方検討会を開催
し、方針や指導体制・連絡体制等
の検討を行ったところである。6
月中に本モデル事業の拠点校の部

活動の保護者への説明会を開催し、
地域部活動の在り方、今後の進め
方などの方針を説明し、年内に2
回目の地域部活動あり方検討会を
開催し事業内容の検討等を進める
ものである。

Q 備蓄燃料は備蓄庫に用意されて
いるのか。

A 櫻井総務課長

災害時の暖房用
燃料として、手軽にたき火や簡単
な料理ができる、一斗缶の中にバ
イオ薪燃料や着火剤、マッチなど
が一式入った、たき火用資機材を
滑川消防署備蓄庫に備蓄している。
備蓄量としては一斗缶たき火セツ
トが10セットと予備のバイオ薪燃
料8キロ入りを10箱ある。

Q 滑川富山線について、滑川署か
ら魚躬区間の劣化が著しいが全面
舗装の予定はあるのか。

A 北島建設課長

市道滑川富山線
は交通量が多く、ひび割れ率が高
いことやわだち掘れが多いことか
ら、道路施設管理計画においても
舗装修繕の優先順位が高い路線と
なっている。引き続き優先順位を
見極め、交付金を活用しながら対
応したい。

一般質問



5 4 3 2 1

SDGs推進について
まちづくり共創会議について
スポーツ振興について
中央線のケヤキ倒伏について
公共工事発生残土について

大浦豊貴 議員



Q SDGs推進のため、研修会・
ワークショップの開催に関する予
算案が提出されているが、開催回
数と参加人員計画はどうか。

A 小川企画政策課長

夏頃と秋か
ら冬頃各一回の計2回の開催を計
画しており、各回50名程度を想定
している。

Q 予算執行に対し効果の高い事業
を展開していただきたいが、企業
や個人に対しSDGsパートナー
を募集し企業等の研修に対し支援
する取り組み等、検討されないか。

A 水野市長

検討していく。

Q まちづくり共創会議を新たに設
置する意義は何か。

A 柿沢副市長

既存の会議では、
国から一定の方針が示されている
ものが多く、制度的な説明が必要
となり、委員対事務局のやり取り
が多々出てくる。共創会議にお
いては、滑川市の将来ビジョン・
政策について検討を重ねる。

Q 開催前に委員に対し各テーマに
おいて提案書等の提出を求めるこ
とはあるか。

A 柿沢副市長

検討したい。
Q スポーツ・健康の森公園陸上競
技場内の芝生グラウンドについて、

管理基準があるのか。修繕整備に
よる使用制限がかかるような現状
であれば、管理方法を変更しては
どうか。

A 野末スポーツ課長

体育協会と
管理方法を具体的に協議したこと
はないが、今後、協議したい。

Q 5月上旬に滑川中央線の街路樹
が倒木し、補修費として点検・伐
採の補正予算が提出されている。
課題は、倒伏するまで点検・対策
がされなかったことにあると考
える。委託事業者との業務範囲の調
整が必要と考えるがどうか。

A 北島建設課長

今回は、樹木の
腐食を発見できず、倒木により通
行止めを実施したため、詳細点検
を実施し伐採により安全の確保を
図りたい。今後の維持管理につい
ては検討したい。

Q 公共工事発生残土については、
資源として有効活用を図ってきた
と説明されてきた。今後は有償で
の処分を実施することだが、
決定に至った経緯を問う。

A 岩城建設部長

将来的な土地利
用計画として、必要な造成個所が
見当たらないことを踏まえ、県が
示す有料での処分とした。

一般質問



1 滑川SDGs及び滑川版スマートシティについて
 2 新型コロナウイルス感染症対策
 3 にぎわいの創出について

吉森真人 議員



Q 水野市長のマニフェストに来年に滑川市がSDGs未来都市への選定を目指すところがあるが、現時点で具体的な課題や持続可能な取り組みについてどう考えているのか。

A 小川企画政策課長 地域課題の洗い出しや整理については本年度から段階的に実施していき、その過程で共に課題解決に取り組んでいただけるステークホルダーについても模索していきたい。具体的な取組については、その後にステークホルダーとともに検討していくこととなるものと考えている。

Q 2023年度で採択されることを目標とされるなら年内には事業構築していくことが望ましいと思うが。

A 小川企画政策課長 2023年2月での応募は厳しいものと感じている。ただ、選定されることだけが目標というのではなく、その選定に向けてSDGsの理念を市民、市職員も含めて、広く浸透させ今後につなげていきたい。

Q 国の原油価格・物価高騰等総合緊急対策の地方臨時特別交付金として4千236万円が予算付けられた。滑川市は、農業者、漁業者、宿泊

業者、タクシー業者に支援金を出すと言われたが、この業種に絞った理由とは。

A 長崎財政課長 関係各課と協議し、主に日常から燃料を多く消費し、原油高騰の影響を直接的に受けている業者とした。

Q 国の言う生活衛生関係営業としては、クリーニング屋や理美容院、飲食店も含まれており、またほかにも運送業があると思うが。

A 長崎財政課長 他の業種については、プレミアム付き商品券やキャッシュレス決済促進事業にて支援を既に行っているところである。

Q (仮称)中滑川複合施設の現時点での完成予定とオープン予定は。

A 高倉まちづくり課長 完成時期については計画通り9月末を予定しており、10月には備蓄品を搬入し、避難施設として防災機能を確認する。また、賑わい創出機能のうち既に店内定している農産物直売所及び飲食テナント部分については、開店準備が整う11月にはオープンできるものと考え、それ以外の部分については施設利活用の方針が整った段階での供用開始として年度内を予定している。

一般質問



1 スポーツ施設を活用した市の活性化について
 2 社会インフラ整備について

岩城晶巳 議員



Q 氷見市が春中ハンドと称して中学生のハンドボール大会を、魚津市においてはマドンナの甲子園と称して全国大学女子軟式野球大会を開催している。また、射水市ではヨットのタモリカップが開催されるなど、県内でも全国的なイベントが開催され、どの市も活性化のイメージアップが図られている。滑川市はサッカー場が5面あり、また野球場は3面が並んでおり、他市のスポーツ関係者からは羨ましがられる施設になっている。これらを活用して小学生や中学生などの全国大会を誘致すべきと思うが、市の考え方を問う。

A 野末スポーツ課長 県内外のチームを招聘した大会については、各競技団体等が主催し、市内スポーツ施設において頻繁に開催されている。日医工スポーツアカデミーでは、各年代でのサッカー大会をはじめ、北信越レベルの大会、高校生においては交流試合等が開催されている。スポーツ・健康の森公園では陸上競技大会やサッカー大会が多く参加者のもと開催されている。野球場については、3面が隣接して配置されてい

ることから大会の開催に適しており、シーズンに入ると様々な大会が開催されている。
Q 各種大会が開催されていることは理解しているが、滑川市独自の全国大会を考えられないか。それにより、全国から応援の方々が滑川に来ていただけたらと思うがどうか。

A 野末スポーツ課長 来年は市制70周年の節目であり、スポーツ振興くじ助成金、いわゆるtotoの助成金を活用して、全国から多くの方が参加できるスポーツイベントが開催できないか今後検討していきたい。
Q 市道宮窪大島線の歩道整備はどのようになっていくのか。

A 北島建設課長 歩道の整備については一定の幅員の用地買収が必要となり、国の補助金や交付金を活用して整備しているが、時間を要している。現在事業を実施している改良工事を早期に完了し、要望が出されている路線の優先順位を見極め、事業の着手について検討したい。

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネルで、生放送及び録画放送を実施しております。次回の市議会定例会の本会議の放送は、9月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。また、録画放送はYouTubeでも配信しております。

一般質問



1 空き家対策について
2 屋外広告物について
3 日医工スポーツアカデミーについて
高川 正樹 議員



Q 3月26日の強風における空き家に対する被害について伺う。

A 数岸空家等居住対策課長 建物の外壁や屋根、扉の飛散など、家屋等に関する被害は16件あり、このうち、空き家に関するものが6件あった。休日ではあったが建設部職員が市役所に待機し、消防署や市民から被害の通報を受け次第、所有者に修繕等の依頼を行い、所有者と連絡がつかなかった場合は速やかに道路に飛散した資材等を移動し、地域住民や通行車両の安全が確保できるよう努めた。

Q 台風等、強風への今後の対応について伺う。

A 数岸空家等居住対策課長 自然災害が予見される場合は、職員が市役所に待機し、初動対応することとしているが、空き家に関する被害を少なくするには、所有者等に対して定期的に状態を確認し、必要な修繕を随時行うなどの管理を促してきており、今後は空き家セミナーや相談会の開催等による啓発を強化していきたい。

Q 屋外広告物については、県の屋外広告物条例によって、市の許可が必要と認識している。破損した

看板などに対して、市としてどのように対応しているか。

A 数岸空家等居住対策課長 補修その他必要な措置は設置者または管理者が行うこととなっており、突発的な災害で破損等を確認した場合には、設置者等に必要な措置を講じるよう働きかけている。

Q 案内看板の表示されている文字が見えなくなっているものもある。市としてどのように考えているか。

A 数岸空家等居住対策課長 表示内容が不明瞭で、利便性を著しく損なっているものについては、必要に応じ、設置者等に適正な管理を呼びかけている。市が設置した看板の状態が悪化していることを職員が発見した場合には、担当課へ速やかに連絡するよう、改めて全職員に周知したい。

Q 日医工スポーツアカデミーを県民が平日の午前中に利用した場合、県サッカー協会の事業として無料となるが、市独自の事業で新たな市民向けの利用促進を考えるとできないか。

A 野末スポーツ課長 今後、県サッカー協会と協議しながら検討したい。

一般質問



1 「地域医療構想」について
2 学校給食費について
3 生活保護について
古沢 利之 議員



Q 地域医療構想については、以前再編統合の対象に厚生連滑川病院も名指しされた。厚生労働省は今回、病床の削減や統合ありきでなく、都道府県が地域の実情を踏まえ、主体的に取組を進めるとした。この動きをどう見ているか。

A 伊井市民課長 厚生労働省で指摘のような取組が示された。新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、病床の機能分化や連携の重要性が認識されたものと考ええる。

Q 名指ししたリストや、高度急性期、急性期病床の削減計画も以前そのままとされている。撤回させるべきではないか。

A 伊井市民課長 地域医療構想は市民に必要な医療が提供される体制維持が前提と考える。地域医療構想調整会議に副市長も参画しており、その場で本市の考えを発信していく。

Q 食料費の値上げによる学校給食への影響が出ている。給食費は現行のまま、給食の質と量は確保されると受け止めていいか。

A 椎名学務課長 食料費の高騰等も注視しながら、質と量の確保がマストと思う。いろいろ勘案しながら検討する。

Q 文部科学省も地方創生臨時交付金を活用して、保護者の負担軽減の取組を促しているが。

A 椎名学務課長 給食運営委員会で、食料の高騰も含めて検討していく。財源も考えて検討する。

Q 生活保護について昨年3月も質問した。厚生労働省のホームページに、生活保護の申請は国民の権利です、と表現され、扶養照会など運用も一部見直しされたことを受けたものだ。答弁ではそういう認識で対応しているとのことだったが、市のホームページの表記は一連の変更以前のまま。変更の必要はないのか。

A 梅原福祉介護課主幹 扶養照会などはホームページに掲載しているが、厚生労働省のホームページのリンクを張り周知を図りたい。

Q 魚津市、小田原市のホームページを見た。小田原市は過去に生活保護行政で問題があり、改善に取り組んできたところだが、本市との違いについてどう考えているか。

A 梅原福祉介護課主幹 ホームページで、保護申請をためらうことがないよう、表記を検討したい。その他事項
・温暖化対策について

賛否一覽表

議案	志真会						会派自民					無党派			
	吉森真人	安達真隆	谷崎潤一	大浦豊貴	青山幸生	竹原正人	高川正樹	原明	岩城晶巳	中川勲	高橋久光	水橋真治	尾崎照雄	古沢利之	開田晃江
議案第25号 (委員会で可決された修正案)	○	○	●	○	○	○	●	●	●	●	/	●	●	○	●
議案第25号 (原案)	●	●	○	●	●	●	○	○	○	○	/	○	○	●	○
議案第26号から議案第29号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○
請願第1号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	/	●	●	○	●
消費税率5%以下への引き下げとインボイスの中止を求める請願書															
議案第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○

※賛成者は○、反対者は●としています。 ※議長は採決に加わらないため「/」としています。



毎年、早稲田大学マニフェスト研究所が実施している「議会改革度調査2021」において、滑川市議会が全国総合45位(県内1位)にランクされました。(昨年は284位) 情報共有、住民参画、機能強化の部門ごとに評価され、滑川市議会は住民参画部門で全国29位となっています。

議会改革度調査

2021発表

永年勤続議員表彰

第98回全国市議会議長会において、議員20年以上特別表彰として中川勲議員、開田晃江議員、古沢利之議員が、正副議長4年以上一般表彰として高橋久光議長が表彰されました。

議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話 475-2111

(内線 371)

【議会報編集委員】

岩城晶巳委員長 高川正樹副委員長
安達真隆委員 水橋真治委員
大浦豊貴委員 竹原正人委員
原明委員

9月定例会が下記の日程で開催されます

日	時間	摘要
8月30日(火)	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
9月6日(火)	10時	代表、一般質問
7日(水)	10時	一般質問
8日(木)	10時	総務文教消防委員会
9日(金)	10時	産業厚生建設委員会
12日(月)~14日(水)・16日(金)	10時	決算特別委員会
21日(水)	11時	委員長報告、質疑、討論、採決